

元気で歩こう会 平成の名水100選南沢湧水群を歩く 21. 12. 10

市民プラザ ⇒ 南沢いこいの水辺 ⇒ 竹林公園湧水 ⇒ たての緑道 ⇒ 向山緑地公園 ⇒ 立野川湧水 ⇒ 六仙公園 ⇒ 南沢湧水 ⇒ 南沢水辺公園 ⇒ 市民プラザ 歩行距離 約5^キ。

今日もまた前回に続き快晴、待望の『名水100選』南沢湧水群を歩きました。「晴れ軍団」と自称しながら、実は6月、9月と同じコースを計画しましたが、お天気に恵まれず今回が44名にとっても「待望」の散策となりました。

南沢いこいの水辺で自己紹介・準備運動の後、まず竹林公園です。たての緑道の紅葉を眺めながら、向山緑地公園の立野川湧水を訪ねました。6月は涸れていたのですが、今回は写真のように、水をたくわえた湧水地を見ることができました。

六仙公園は北多摩地区の緑の拠点として東京都が計画した公園で、武蔵野の原風景を回復し、散策やレクリエーションの場としても期待されます。イメージ図を見ると六仙の森、六仙の池やお花畑など随所に自然とのふれ合いを重視した公園が描かれています。また、災害時の避難場所としても活用されるようです。

公園予定地の向こうに見える閉校予定の八小を背景に集合写真を撮り、最後の目的地である秘境南沢湧水を訪ね、今日の湧水「はしご歩き」は終了、満腹感いっぱいの散策でした。



南沢いこいの水辺

平成9年の河川法改正によって全国に先駆けて護岸壁を取り除いた、水辺に親しみやすい親水広場です。冬鳥が集まります。



竹林公園湧水

東京の名湧水57選、新東京百景に選ばれています。



湧水地

竹林公園には3,000本のマ竹やモウソウ竹があると云われています。



たての緑道

昭和19年の戦時下に東久留米駅から中島航空金属(ひばりが丘団地あたり)まで原材料などを運搬する鉄道の引き込み線の跡です。



立野川湧水地

まだよく知られていない湧水地ですが、周りの環境に気を配りながら歩きましょう。



六仙公園側の麦畑

もしかして柳久保小麦でしょうか？ドウダンツツジとの色彩のコントラストが季節を知らせてくれます。



六仙公園予定地

冒頭に書いたような絵がいつの日か実現するのでしょうか。



南沢湧水地

南沢の湧水地には沢頭流(さがしりゅう)、海老沢流(えびさわりゅう)、神酒沢流(かみきさわりゅう)などの源頭があります。珍しくカルガモ君が湧水と戯れていますね。



閉校が近い、消えゆく八小の校舎を背景に、集合写真を撮りたいという全員の願いでした。いつの日か市民のいこいの場として復活するのでしょうか、一抹の郷愁を感じさせるひとときでもありました。